

29

特別
1919
120



我樂多誌

五

門 14
時
號 1919
卷 27

門 15
號 1880
卷 27



○羽衣傳説を記す

能伝傳説をまゝに著すの如く、羽衣傳説の
とき邦邦物とせしむるは、古くは、
四子書、北江上田氏の雜著を後述する羽衣
傳説の種を輯め、その如く、
羽衣傳説を和漢物との如く、
人教の流の能伝を著す、白鳥愛女式と余
名する部、
のリップ、ダン、井シクル式、
人の如く、
ハサン

昭和七年十一月一日寄
市島謙吉氏贈

と呼ぶるの鳥もあつてけりてあつてはき煉瓦の道あり
揚さん駱駝に乗るもんと沙漠をわつこと十歩の山
の麓を道しぬ道者すまふう北海なる少なる山の
一個餅子三枚飲方一袋を興つて彼と革主裏のう
うへにこの鳥の鳥を乗せしめしめ此山の鳥を
おとし来て山の頂を歩くもきとるんハサレは道者
の鳥のうへに革袋と皮を出てたををさかし
あつてしぬ散らしける薪を拾ひ集めて山とを
投げたるといふと好まふ月ある天下一歩の木村
——道者のほつとくもひみし——のうへに情を
七役をハサンを命に任をおきて遠く去りぬ少

東林院

奇悲の叫ぶも甲斐なくもまじくは毒を吐く谷
を正しくして終る世にき梅つて命をさすこころを七人
の仙めあつてハサンを款得てしめしめ馬くわ
え止めんと夢のやうなる秋葉の月をさすこころを
なましく父さすまゝに供あつてせむ皆二月のあ
ひに都るゆきとてこのうへにわくもこの輪をハ
サシる鳥あつて梅園を守りしめをいふたひに
世の戸を用く物とを命にさすハサレす
まゝなるゆきとてぬまの心とてあつてあつた
禁あつてたをさすまゝに在籠のうへに樹あり
を廻るもまゝ十羽の鳥のうへに流して

昔々蘭土の物語を聞くエステルボツテニの住くる三人の
あるとき父甚だたはたさるりくちあましくいふに
るたて給ふるもつと信じて二人の子は誠みたる鳥羽
玉のおそろしきまおびえあつたゆきまあまごらん
はまゝ一まのゆるみ心太くも踏み止するを
かしくまゝ方のはじめ白を以て三羽の我まゝいつ
うまゝと羽を脱しま雁とさうして浴するを
かたも美しき羽衣を奪ひかゝりて信つたといふと
と怖るま治術おきくまあをさうめ

ボヘニヤの一寸年あるとき巫女も守る年を
梅の大樹のこゝろある三羽の羽をえたる其一を捕

へて羽を奪ひたる玉の姿を愛して彼を信じて
年却改の時けらんる父母の位ある連ぬあま
といふ又四牙利の物語は白氷のぼろとま
みまゝ三羽の羽来るといふ身も翻せばま
婢妹の美人なるひとこの羽衣を奪ひ、蒼直に
振向ふるとゆふまをし得くしと波初め、
花園にハハ、タヌキも同じあまを信ふ、
の子まゝのあつた三羽の好ありみて、
と化しおぼえ浴するを信じて羽衣を奪ひ信のわ
とまゝ

白鳥度女式の信後まかくのやくま西の二大陸を度

分類號碼表

- 000 General works.
- 010 Bibliography.
- 020 Library Economy.
- 030 General Encyclopedias.
- 040 General collections.
- 050 General periodicals.
- 060 General Societies.
- 070 Newspapers.
- 080 Special Libraries. Polygraphy.
- 090 Book rarities.

分類號碼表

- 100 Philosophy
- 110 metaphysics.
- 120 Special metaphysical topics.
- 130 Mind & body.
- 140 Philosophical systems.
- 150 Mental faculties.
- 160 Logic.
- 170 Ethics.
- 180 Ancient philosophy.
- 190 Modern philosophy.
- 200 Religion

210 natural theology.
220 Bible.
230 Doctrinal theology, Dogmatics.
240 Liturgical & practical.
251 Homiletic, Pastoral, Parochial.
260 Church, Institutions, work.
270 Religious history.
280 Christian churches & sects.
290 non-Christian religions.
300 Sociology.
310 Statistics.

320 Political science.
330 Political economy.
340 Law.
350 Administration.
360 Associations & institutions.
370 Education.
380 Commerce & Communication.
390 Customs, Ceremonies.
400 Philology
410 comparative,
420 English.

430 German
440 French
450 Italian
460 Spanish
470 Latin
480 Greek
490 Minor Languages
500 Natural Sciences
510 Mathematics
520 Astronomy
530 Physics

540 Chemistry
550 Geology
560 Paleontology
570 Biology
580 Botany
590 Zoology
600 Useful Arts
610 Medicine
620 Engineering
630 Agriculture
640 Domestic Economy

650 Communication & Commerce
660 Chemical Technology
670 Manufacturing
680 Mechanical Trades
690 Building
700 Fine arts
710 Landscape gardening
720 Architecture
730 Sculpture
740 Drawing, Design, Decoration
750 Painting

美華書局

760 Engraving
770 Photography
780 Music
790 Amusements
800 Literature, including Fiction
810 American
820 English
830 German
840 French
850 Italian
860 Spanish

870	Latin
880	Greek
890	Minor Languages
900	<u>History</u>
910	Geography & Description
920	Geography -
930	American history
940	Europe
950	Asia
960	Africa
970	modern North American

天
本
國
書

980	} South American,
990	

以上

目錄のカード目錄及印刷目錄の二種あり印刷
 目錄のカード目錄の類は一七世紀より使は
 且同様に一七世紀末に圖書館におき
 するものあり一冊に数十枚の綴りを有する
 冊子の利益あるもの印刷の費用を要し且
 其印刷を終るに際しては其冊子の類に

Book varieties

1. Manuscripts, Autographs.
2. Black books.
3. Early printed books. Incunabula.
4. Rare printing.
5. Rare binding.
6. Rare illustrations or materials.
7. Ownership, Book plates. Ex libris.
8. Preliminary, Post imaginary.
9. Other varieties. Curiosa, Devote size etc.

東洋書院

1. 得るを私蔵の政書と云ふは、たゞその可成る
 ことのみならず、その一端ともして、人歎息即ち其
 邦の地、範囲、土俗、人、事、を述べ、その
 概を、その一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
 一、歴代帝王宸翰 一 歴史の巻々として、古き古き
 一 有名なる人の日記類 一 有名なる人の尺牘類
 一 有名なる人の著書 一 有名なる人の尺牘類
 一 純然たる古書 一 火災等のため、破亡して
 僅く一二存する古書 一 年代古く、著し、其書
 する人の年を、一 紙幅の狭く、著し、其書
 する古本例、其書を、三、四、五、六、七、八、九、十、

月中の黒龍を捕らんとする人々を説く事と、
傳説の節々を中し申す出づれば、
列の多岐、
控ひあつた事々々、
そつと終る事々々、
あ守護の月、
あ人々、
但し、
中世奇伝の著者ベアリ、
アリヤン民族の古傳と爲し、
海とて、
北政の傳説を名づけて、
アニアニ

東洋伝説

及ビロと呼ぶ事、
あいつけるセグンの釣籠、
一、
い、
黒龍を以て水桶あがき、
かの子守、
く、
あ、
説の、
（ジルの）、
あ、
北政の

トの偷奪の行を月廿物々けけなも俗説はわく
やく之を月廿のねる婦一童女の形をんらん
男の女とさるるあつてもはえのこころこころ
りぬいさるるあつても童の長しと生入とさるる
すに禁の一束を妻に基督の傳播するに
て強ははあまはれを之を民衆紀略中の異人
と曰視するもさるる

支那の傳説は極く月廿のさるる桂樹をささるる
はさるる人さるるさるる之を伐んぬる女劍やん令す
此人の名を美剛とさるるさるるさるるさるる月廿の
一説さるるあつて邦俗月廿中の異人を以て特にも兔

東洋傳説

の印に向ふさるるさるる印方のを傳ふるも用を
ぬし程さるるあつて兔をさるるさるる猿和とせし
みける時インドの其徳を試みるもさるる餓をさるる
化しと食をさるるさるる異のさるるさるるさるる
兔を捕まへさるる夫人を捕まへることのつれさるるを思ひ
自ら火を投じておのづかぬを供へぬインドの
徳を捕まへて之を月廿中の婦とて印を移る月と
鬼とを関係せしめさるるさるる俗説のさるる古傳説
あつてもさるるかの禽獸を家話の裡とつるさるる
ンテアタントラ(五部集)三卷オ一話(留書
ある兔の話をベアリンググランドのさるる川

用てゐる。その墨西哥の伝説も六月の星記
 を改めして神の月を向て投下るゝ鬼のうといひ
 西條のツルランドも同一の傳説行のうといひ
 照すか未だ種々しく連断する。又法邦
 の古傳の月をいへる男とて。後て月中の星記を
 其例に起るる葦原の結集とて。若くは例
 はロマウヤ山中のカレヤ種族の傳説に接する。若くは
 の男とて。其母の情を言のさすといふ大罪を犯し
 たる及を投げたる。その女も星記を生ずる
 こと。又エスキモオ種族の傳説の月をいへ
 る。かゝるの男とて。男も月。あつたひさく。女

東洋風
 星記

といふ。對て、いかいけり。きねあ。あ。い。こ。か。は。い。と
 ぎを曲者の面を及を塗る。あき。な。ん。か。後。月。の。不。景。氣
 といふことを。い。へ。し。と。あ。つ。た。女。も。星。記。を。生。ず。る
 の。お。も。て。は。其。め。の。及。の。女。と。て。あ。つ。た。と。い。ふ。こと。

上田新著の飛騨集のあけき

○そねの代の納涼歌

時節梅あけの健り。のりも。美術。伝。伝。を。下。と。比
 え。あ。け。の。あ。け。の。そ。ま。し。が。而。も。い。お。る。昔。々
 物語を。い。へ。し。と。あ。つ。た。女。も。星。記。を。生。ず。る

の鏡も三輪琴もその光音けのこころをせし
いけの中へお出まし

とある此等しき運意の昔もんを大家の子女も
の納涼の玉心の技と又しきもいふのひも又貞享
二年官の山版ひ井原西條の若しと大船も
いつのころか

花火の光をえんとを海を川の舟をえりし
に能一丸の大船も船の飾浪をうつとをえり
お舟も丸つちしきも名の前もしし
とある前もつちしきも能一丸もお舟も丸つちし
大船ひあつちしきも又の舟も

舟の歌

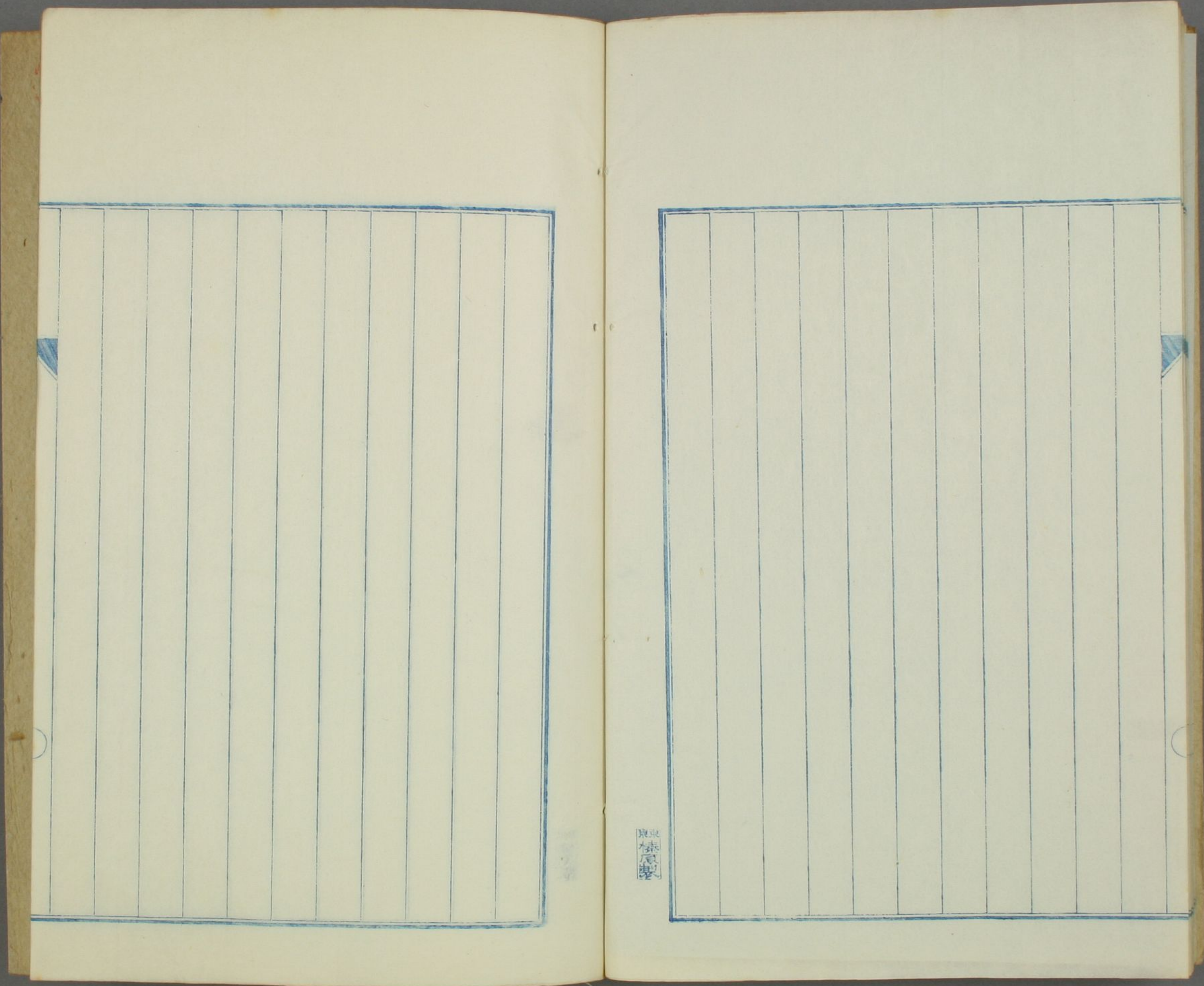
一ひめさの船もえりしとせしとて大書と海へ行
お武丸といふ船もつちしきも船の飾浪をえりし
舟も四隅の舟も白の玉もえりし

とある之とあるの舟もえりしとて大書と海へ行
ひめさといふ船もつちしきも船の飾浪をえりし
と涼をえりしとて大書と海へ行
お舟も丸つちしきも船の飾浪をえりし

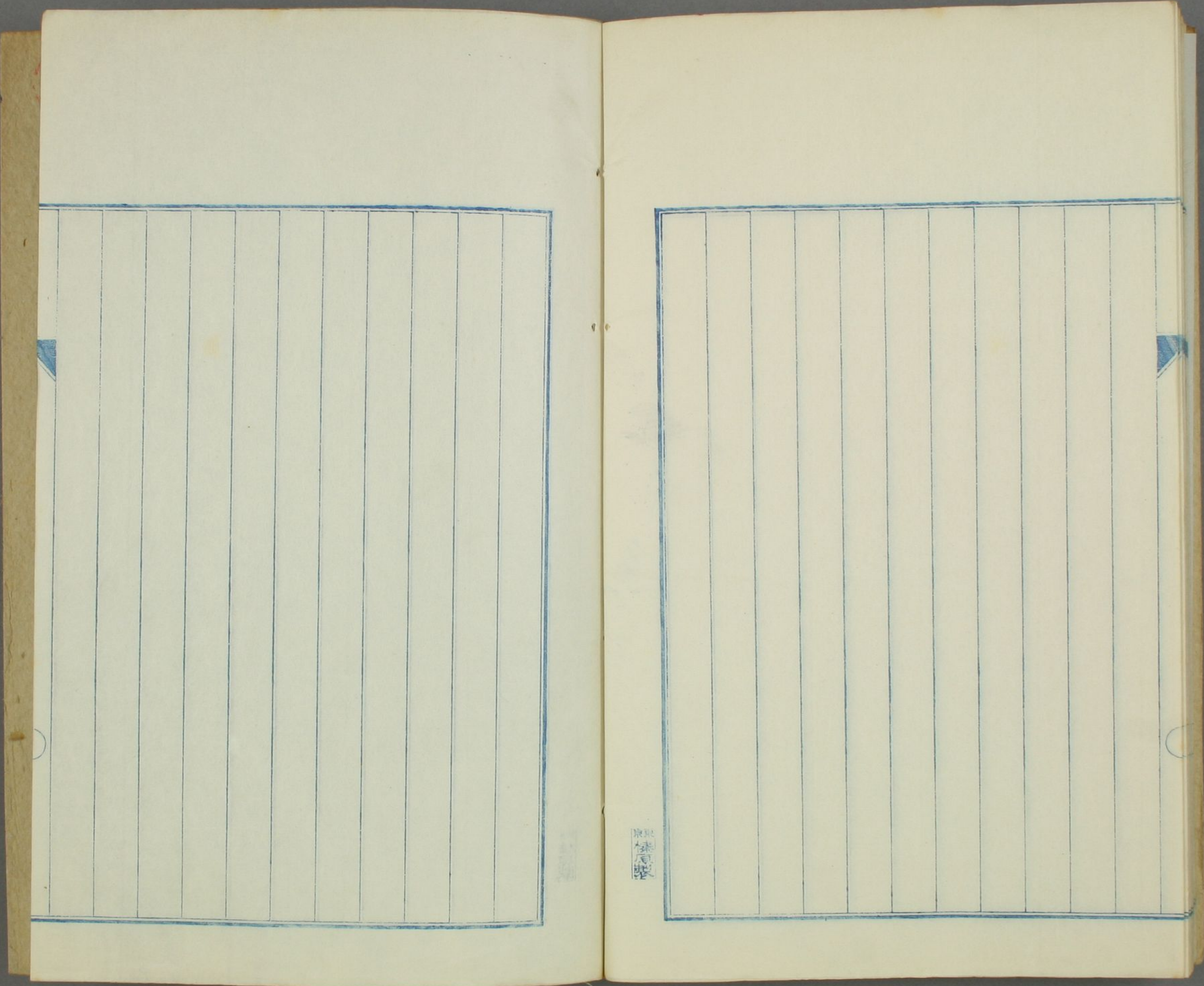
うお腰又之を抽出し、こを成と入れ
まきそを取けんや、料記に於るこ
と、ううと又、取おの中、取、取、取、取、
と、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、
ひ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、
二、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、
え、え、え、え、え、え、え、え、え、え、
れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、
こ、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、
あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、

東洋堂

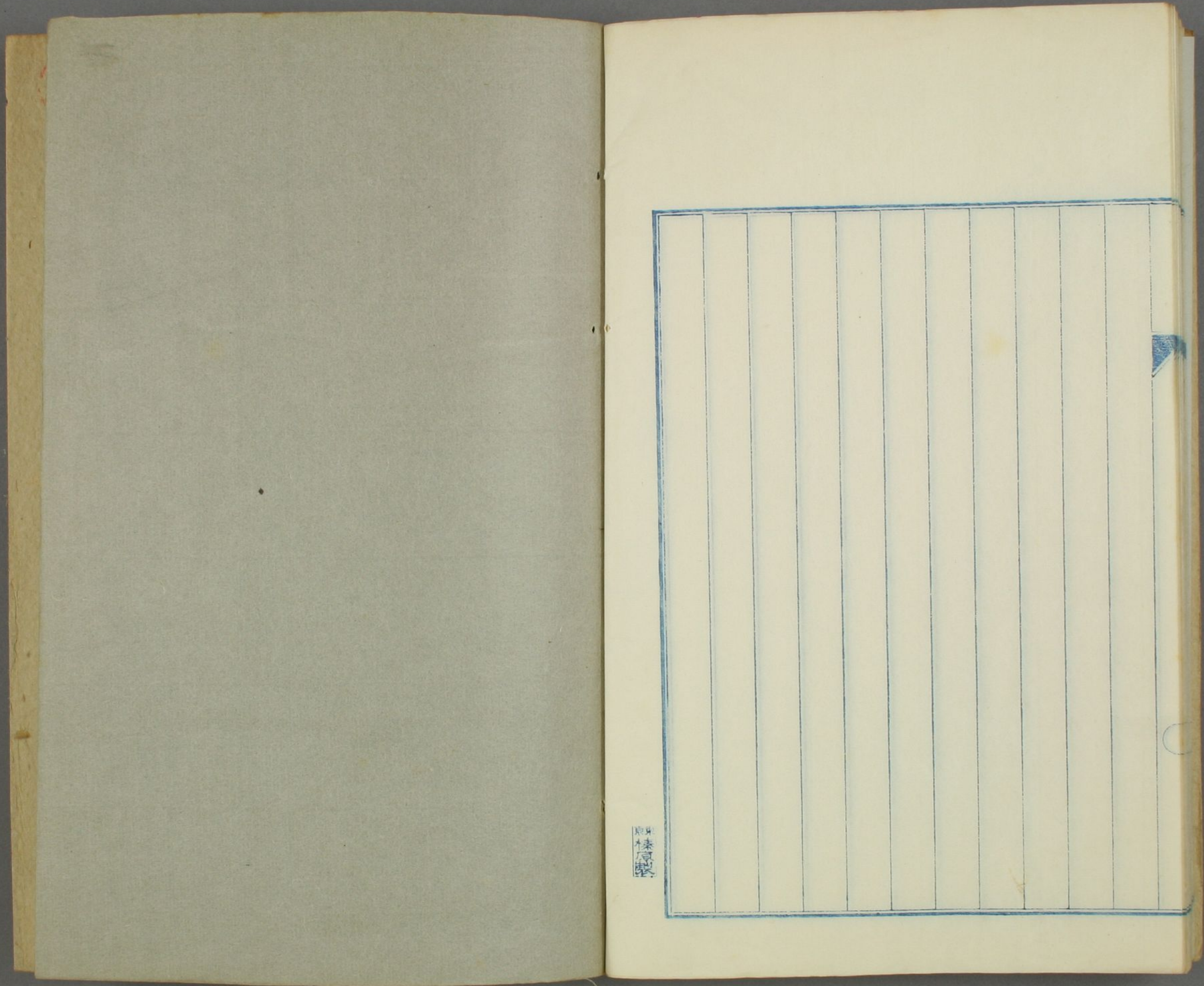
うお腰又之を抽出し、こを成と入れ
まきそを取けんや、料記に於るこ
と、ううと又、取おの中、取、取、取、取、
と、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、
ひ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、
二、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、
え、え、え、え、え、え、え、え、え、え、
れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、
こ、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、
あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、



東洋堂



東洋書院



東洋
書院

明治三十五年
七月下浣

春城山人



